

資料番号	20010724
差出人	医療委員会
受取人	
採取方法	その他
通知区分	通知
事例分類	医療機器

タイトル	採取後、右大腿部外側皮神経 感覚低下となった事例
本文	ドナーデータ：年齢：40歳代 性別：男性<経過>Day0 食後、右大腿側面に違和感を認める。Day+1 神経内科受診右大腿神経の枝あるいは大腿外側皮神経の末梢神経障害と診断うつぶせ体位の影響も考えられるとのコメント Day+2 退院

別紙タイトル	
別紙本文1	地区代表医師へ報告。「少しでも症状があれば慎重に対応するように」と。(採取後の状態は加害者との関係も発生するから) DAY -1 状況報告 採取担当医より・昨夜発熱(37.6℃)あったが、本日朝の段階では解熱・身体的痛みの訴えなし・今朝、整形外科医に診察頸椎等を確認、症状もなく 24 時間経過しているので、問題ないとの判断。実質的な採取は可能と考える・事故時、エアバックが作動し、直接頭部は打っていない。
別紙本文2	企業・団体によっては従業員に「ドナー休暇」を導入しています。(公財)日本骨髄バンクのホームページでドナー休暇制度導入企業・団体を紹介しています。